

特集 ドイツ・ミュンヘン エコロジー建築事情

1. 環境教育センター「ÖBZ」



2階に上がると敷地全体を眺めたり、緑化屋根やソーラーパネルにふれることも出来る。



施設の中には明かりが差し込む強化ガラスの天井に囲まれてラセン階段がある。

環境教育センター「ÖBZ」

ミュンヘン郊外に建つ「ÖBZ」は、幼児から成人までを対象にした、環境教育のための学習プログラムをもつ教育施設で、さまざまな環境イベントに利用されている。カタツムリをモチーフにした円形の建物は、エコロジカルライフサイクルの象徴であり、最小限の一次エネルギーで作られた再利用可能な建材で建てられているのが特徴だ。

らせん階段を昇ると360度ガラスで囲まれた円形の開放的な展示室になっていて、屋上緑化やソーラーパネルが手に届くところで見ることが出来る。南面のガラス面には太陽エネルギーを利用した、ソーラーウォールが仕込まれていて、太陽光の熱エネルギーを蓄熱層にためて暖房の手助けをする。また、夏季に発生する不要な熱エネルギーを地下の蓄熱層に蓄え、冬季には暖房に利用する仕組みだ。

敷地内には、生態系や有機植物の仕組みを学習するためのビオトープガーデンがある。ここでは、それぞれの生き物にとって住みやすい環境の違いを、実際



ビオトープガーデンは小動物たちが主役の庭である。



さまざまな形状のマテリアルが置かれ、虫の種類により好む環境が違うことを学習できる。

に体験できる。また、柳の木を植えて作る柳のトンネルやフェンス、生きた自然の遊具など、環境教育に欠かせない定番品も見ることが出来る。小規模な環境教育施設ながら、日本でも環境教育を浸透させるために、町にひとつあると良いと思える貴重な教育施設だった。



屋外学習の一つ、生きた柳のトンネルの遊具。ワークショップのための屋外フィールドが整っている。



廃タイルを集めて作ったトカゲのオブジェ。



屋上に設置された太陽熱温水ソーラーパネル。



環境教育センター正面はガラス張りのオープンスペースでギャラリーやイベント、情報案内の場となっている。



- ◀ 建物のコンセプト、カタツムリをモチーフにしたサイン看板
- ▼ オーニングテントの日射遮蔽が組み込まれたガラス天井のエントランスホール。



エコデザイナー
西條 正幸

1960年伊達市生まれ。札幌を中心にナチュラルスタイルの店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。自然素材にこだわった新築、リフォームの設計、施工会社「西條インテリアデザイン」代表取締役。エコスタイルショップ「素材自店」店主。

資料請求番号
ハガキで資料を
取り寄せられます。

特集

ドイツ・ミュンヘン エコロジー建築事情

1. 環境教育センター「ÖBZ」



2階に上がると敷地全体を眺めたり、緑化屋根やソーラーパネルにふれることも出来る。



施設の中には明かりが差し込む強化ガラスの天井に囲まれてラセン階段がある。

環境教育センター「ÖBZ」

ミュンヘン郊外に建つ「ÖBZ」は、幼児から成人までを対象にした、環境教育のための学習プログラムをもつ教育施設で、さまざまな環境イベントに利用されている。カタツムリをモチーフにした円形の建物は、エコロジカルライフサイクルの象徴であり、最小限の一次エネルギーで作られた再利用可能な建材で建てられているのが特徴だ。らせん階段を昇ると360度ガラスで囲まれた円形の開放的な展示室になっていて、屋上緑化やソーラーパネルが手に届くところで見ることが出来る。南面のガラス面には太陽エネルギーを利用した、ソーラーウォールが仕込まれていて、太陽光の熱エネルギーを蓄熱層にためて暖房の手助けをする。また、夏季に発生する不要な熱エネルギーを地下の蓄熱層に蓄え、冬季には暖房に利用する仕組みだ。敷地内には、生態系や有機植物の仕組みを学習するためのビオトープガーデンがある。ここでは、それぞれの生き物にとって住みやすい環境の違いを、実際



ビオトープガーデンは小動物たちが主役の庭である。



さまざまな形状のマテリアルが置かれ、虫の種類により好む環境が違うことを学習できる。

に体験できる。また、柳の木を植えて作る柳のトンネルやフェンス、生きた自然の遊具など、環境教育に欠かせない定番品も見ることが出来る。小規模な環境教育施設ながら、日本でも環境教育を浸透させるために、町にひとつあると良いと思える貴重な教育施設だった。



屋外学習の一つ、生きた柳のトンネルの遊具。ワークショップのための屋外フィールドが整っている。



廃タイルを集めて作ったトカゲのオブジェ。



屋上に設置された太陽熱温水ソーラーパネル。



環境教育センター正面はガラス張りのオープンスペースでギャラリーやイベント、情報案内の場となっている。



- ◀ 建物のコンセプト、カタツムリをモチーフにしたサイン看板
- ▼ オーニングテントの日射遮蔽が組み込まれたガラス天井のエントランスホール。



エコデザイナー
西條 正幸

1960年伊達市生まれ。札幌を中心にナチュラルスタイルの店舗、住宅の空間デザイナーとして活動。自然素材にこだわった新築、リフォームの設計、施工会社「西條インテリアデザイン」代表取締役。エコスタイルショップ「素材自店」店主。

資料請求番号
ハガキで資料を
取り寄せられます。

2. エコロジカルな学校 「シュタイナー学校」



天井からの間接光が差し込む曲線の廊下



未完成の天井が見えるエントランスホール。



緑化された屋根がポイントの正面玄関。

エコロジカルな学校 「シュタイナー学校」

ミュンヘンで4番目にできた、シュタイナー学校を訪ねる機会に恵まれた。同校は子どもたちの個性を尊重する独自の教育プログラムと、身体、心理、精神の3つのバランスを重視する教育理念に基づいて運営され、さらに、オーガニックな自然の素材を大切にした建材を使って建てられている校舎も特徴である。資金不足のため、未完成の建物は玄関ホールの広い天井の下地がむき出しのままだが、天井の高さのせいか、ふしぎと気にならない。仕上げ作業は父兄たちが参加するセルフビルドで行われるという。シュタイナー独特の色彩模様は建物の外観だけではなく、室内の教室にも表れている。日本でいうと小学校から高校までの12年生が通う教室は、子どもたちの年齢に合わせて変化し、パステル調のぼかし絵のような色使いのペイント壁がユニークだ。

使われていて、隙間をあけてスノコ状にし、斜めや曲線に貼ることで集音と吸音効果が得られるように工夫されていた。その場にいると、窓や天井から差し込む光が壁の柔らかな色彩模様を映し出し、心に呼びかけられているような感覚を僕たちも体験することになる。子どもたちがのびのびと個性を伸ばすことのできる、すばらしい環境に出会った。



ハイサイドライトのある遊技場の外観が見える。

ユニークな天井の遊技場（多目的ホール）

低学年は暖色のピンクの壁でまとめられた教室。

高学年の教室は寒色のブルーの壁に変わる

Ecology House

環境と健康を考えたエコロジー建築



ホームページ <http://www.saijo-d.com>

自然素材で新築・リフォーム

エ/コ/ロ/ジ/ー/建/築/エ/房

有限会社 一級建築士事務所

西條インテリアデザイン

本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel. 011-774-8599 fax. 011-774-8581

伊達支店／伊達市舟岡町50-28
tel. 0142-22-0138 fax. 0142-22-0139

資料請求番号

ハガキで資料を取り寄せられます。

2. エコロジカルな学校 「シュタイナー学校」



天井からの間接光が差し込む曲線の廊下



未完成の天井が見えるエントランスホール。



緑化された屋根がポイントの正面玄関。

エコロジカルな学校 「シュタイナー学校」

ミュンヘンで4番目にできた、シュタイナー学校を訪ねる機会に恵まれた。同校は子どもたちの個性を尊重する独自の教育プログラムと、身体、心理、精神の3つのバランスを重視する教育理念に基づいて運営され、さらに、オーガニックな自然の素材を大切にした建材を使って建てられている校舎も特徴である。資金不足のため、未完成の建物は玄関ホールの広い天井の下地がむき出しのままだが、天井の高さのせいか、ふしぎと気にならない。仕上げ作業は父兄たちが参加するセルフビルドで行われるという。シュタイナー独特の色彩模様は建物の外観だけではなく、室内の教室にも表れている。日本でいうと小学校から高校までの12年生が通う教室は、子どもたちの年齢に合わせて変化し、パステル調のぼかし絵のような色使いのペイント壁がユニークだ。

使われていて、隙間をあけてスノコ状にし、斜めや曲線に貼ることで集音と吸音効果が得られるように工夫されていた。その場にいると、窓や天井から差し込む光が壁の柔らかな色彩模様を映し出し、心に呼びかけられているような感覚を僕たちも体験することになる。子どもたちがのびのびと個性を伸ばすことのできる、すばらしい環境に出会った。



ハイサイドライトのある遊技場の外観が見える。

ユニークな天井の遊技場（多目的ホール）

低学年は暖色のピンクの壁でまとめられた教室。

高学年の教室は寒色のブルーの壁に変わる

Ecology House

環境と健康を考えたエコロジー建築



ホームページ <http://www.saijo-d.com>

自然素材で新築・リフォーム

エ/コ/ロ/ジ/ー/建/築/エ/房

有限会社 一級建築士事務所

西條インテリアデザイン

本社／札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel. 011-774-8599 fax. 011-774-8581

伊達支店／伊達市舟岡町50-28
tel. 0142-22-0138 fax. 0142-22-0139

資料請求番号

ハガキで資料を取り寄せられます。